

住みよい江戸川区と
希望の持てる未来のために

特集

2100年に向けた
江戸川区の考え

ご意見をお寄せ
ください

《7ページへ



認可外保育施設の利用料を補助します

施設利用給付係 ☎03-5662-1012

認可外保育施設に在籍する児童の保育料を7月分から補助します。補助内容や申し込み方法など、詳しくは区HPをご覧ください。

【対象】 補助対象月に保育の必要性が認められる児童の保護者

【申し込み】 7年3月31日までに、申請書を郵送（必着・〒132-8501（住所不要）子育て支援課施設利用給付係）または持参（区役所3階7番）

※申請書は施設利用給付係（上記④）で配布している他、区HPからもダウンロードできます。



施設の種類	利用児童の区分（※）		補助額（月上限）
認可外保育施設	0歳～2歳	課税 第1子	3万7000円
		課税 第2子以降	5万円
	3歳～5歳	非課税 第2子以降	8000円
		非課税 第2子以降	2万円
企業主導型保育施設	0歳	課税 第1子	3万7100円
		課税 第2子以降	5万円
	1歳～2歳	非課税	1万2900円
		課税 第1子	3万7000円
	3歳～5歳	課税 第2子以降	5万円
		非課税	1万3000円
認証保育所	0歳～2歳	課税 第1子	3万7000円
		課税 第2子以降	5万円
	3歳～5歳	非課税	8000円
		非課税 第2子以降	2万円

※6年4月1日現在の年齢を適用します。

課税証明書・納税証明書のコンビニ交付が始まります！

④コンビニ交付について

⇒マイナンバー推進課計画係 ☎03-5662-1698

課税(非課税)証明書について

⇒課税第一係・課税第二係 ☎03-5662-1008・1009

納税証明書について

⇒収納推進係 ☎03-5662-6345

マイナンバーカードで、コンビニエンスストアなどの多機能端末機から課税（非課税）証明書と納税証明書が取得できるようになります。詳しくは区HPをご覧ください。



【開始日】 8月31日

※8月29日は、住民票の写しの発行や利用登録申請など全てのコンビニ交付のサービスが利用できませんので、ご注意ください。



東京都から商品券などをお送りします！

④東京都物価高騰対策臨時くらし応援事業コールセンター ☎03-6700-8720 = 9時～18時（無休）

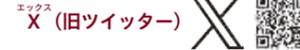
物価高騰の負担を和らげるため、一世帯当たり1万円分の商品券などをお送りします。申し込み方法など、詳しくは東京都HPをご覧ください。

【対象】

住民税非課税世帯、住民税均等割のみ課税世帯 ※対象世帯には、東京都から通知書が届きます。

【申し込み】

12月31日までに、東京都HPまたは通知書に同封するはがきを郵送（消印有効）



いま くる 今が苦しいあなたへ そのつらい気持ちを聞かせてください

④いのちの支援係 ☎03-5661-2478

小学生・中学生・高校生の皆さんへ

新学期が近づいてきましたね。最近「眠れない」「やる気が出ない」「イライラする」といったことはありませんか。そのような状態が長く続くときは、心がSOSを出しているのかもしれません。一人で悩まず、信頼できる大人や以下の窓口まで相談してください。

保護者の皆さんへ

お子さんの様子に「いつもと違う」と感じるところはありませんか。悩みを抱えているサインかもしれません。気になることがあったら「どうしたの？」と声をかけてあげてください。心配なことがあれば、以下の窓口までご相談ください。

「助けて」を相談できる場所がたくさんあります

●電話相談

24時間毎日
電話できます

種類	時間	電話番号
24時間子供SOSダイヤル（国）※1	24時間（無休）	0120-0-78310
よりそいホットライン（一社）社会的包摂サポートセンター		0120-279-338
こどもの人権110番（国）※2	8時30分～17時15分（土日祝を除く）	0120-007-110
こころといのちのホットライン（都）	12時～翌朝5時30分（無休）	0570-087478
えどがわ子どもの権利ほっとライン	☎・困13時～18時、 ☎10時～15時 （☎・年末年始を除く）	0120-301-123
江戸川区教育研究所 教育電話相談	グリーンパレス教育相談室	03-3655-8200
	西葛西教育相談室	9時～16時30分（土日祝を除く）
	南篠崎教育相談室	03-5676-3288 03-3698-7811
江戸川区児童相談所「はあとポート」	8時30分～17時（土日祝を除く）	03-5678-1810
	上記以外	0120-189-783

※1 原則、都の教育委員会の相談機関につながります。

※2 8月21日～27日の期間は相談時間を19時まで延長し、☎も開設します（☎は10時～17時）。

●LINE相談

種類	時間	二次元コード
相談ほっとLINE@東京（都）	毎日15時から23時まで（受け付けは22時30分まで）	
LINEじんけん相談（国）※1	8時30分～17時15分（土日祝を除く）	

※1 8月21日～27日の期間は相談時間を19時まで延長し、☎も開設します（☎は10時～17時）。





ひらい圓藏亭の催し

☎ひらい圓藏亭 ☎03-5626-3242=13時30分～17時（図を除く）

①講座「江戸東京を歩く 神田川編」
～神田川に残る江戸の名残を楽しもう～

【日時】9月1日 日 14時～15時

【講師】松原良

②五代目円楽一門会若手落語会

【日時】9月4日・11日・18日の 14時～15時30分、27日 19時～20時30分

③「三人興」落語会

【日時】9月5日 日 19時～20時30分

【出演】入舟辰乃助、三遊亭歌夫、林家あんど

④若鮎を応援する落語会

【日時】9月8日 日 14時～15時

【出演】春風亭いっ休

⑤六人廻し落語会

【日時】9月13日 日・27日 14時～15時30分

⑥立川志らびー独演会

【日時】9月13日 日 19時～20時



春風亭いっ休

⑦三遊亭遊かり ひとり会

【日時】9月14日 日 14時～15時30分

⑧講座「江戸名所図会」を歩く
江戸の名所案内「江戸名所図会」の
現在を10年かけて歩いたリポート。

【日時】9月15日 日 14時～15時

【講師】中村貞子（江戸東京博物館友
の会会員）

⑨ひらい圓藏亭落語教室

【日時】練習会⇒9月21日、10月19日、11月30日、12月21日、7年1月25日の 19時～20時30分（全5回）

成果発表会⇒7年2月24日 14時から

【講師】橋家富蔵

《場所》ひらい圓藏亭

《定員》①～⑧各30人、⑨10人

※いずれも申し込み順。

《費用》②⑤⑥各1000円、③⑦各1500円、④500円

《申し込み》8月16日 13時30分から電話（上記☎）で



一之江抹香亭の催し

☎一之江抹香亭 ☎03-3654-0095

①ふれあい茶席

普段着で気軽に参加できるお茶席です。お子さんやお茶席が初めての方には解説もします。

【日時】9月1日 日 13時・14時から

【定員】各14人（申込順）

【費用】各300円

【講師】淡水会

②身近な秋の虫観察会

一之江抹香亭や一之江境川親水公園で見られる秋の虫を観察しよう！

【日時】9月14日 日 13時30分～15時

【定員】15人（申込順）

《場所》一之江抹香亭

《申し込み》8月①20日 日・②16日 日 9時から電話（上記☎）で



篠崎文化プラザの催し

☎篠崎文化プラザ ☎03-3676-9071



①フードライブ

ご家庭や企業で余っている食品をお持ちください。

【日時】8月18日 日 10時～15時

②しのプララウンジコンサート

演奏家による迫力ある生演奏をお楽しみください。

【日時】8月26日 日 12時30分～13時30分

【出演】山口真由夏（バイオリン）、栗原希（フルート）、波田生（ビオラ）、竹本さや（チェロ）

③しのプラ亭落語会

実力派ぞろいの社会人落語会をお楽しみに！

【日時】9月1日 日 13時30分～15時30分

【定員】90人（申込順）

【出演】三崎家桜の輔 ほか

④フラワーアレンジメント講座「フラワーヘルス」

リラックス効果のある花を使ってフラワーリースを作ります。

【日時】9月7日 日 10時～12時・14時～16時

【定員】各20人（申込順）

【費用】3000円

【講師】宇田川寿恵（フラワーデザイナー）

《場所》篠崎文化プラザ

《申し込み》①②不要、8月③16日 日・④23日 日 14時から電話（上記☎）またはHPで



住みよい江戸川区と 希望の持てる未来のために

特集

2100年に向けた江戸川区の考え

ご意見をお寄せください

長きにわたって発展してきた江戸川区。将来に向けても、安心して自分らしく暮らせるまちであってほしい—しかし、2100年にかけて区の人口や区に入るお金などが減ることが予測され、公共施設も老朽化し、これまで築いてきた住みよいまちが継続できなくなってしまうかもしれません。

そこで区は、2022年（令和4年）に『2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）』を策定し、未来に向けた取り組みを進めてきました。そして今年、具体的な行動を始める“スタートの年”。本特集では、区が考える今後の方向性についてご紹介します。区民の皆さんのご意見をお寄せください。

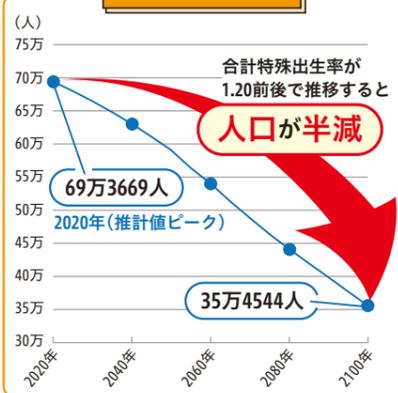


▲『2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）』



2100年に向けた予測は？（区の人口・お金・公共施設）

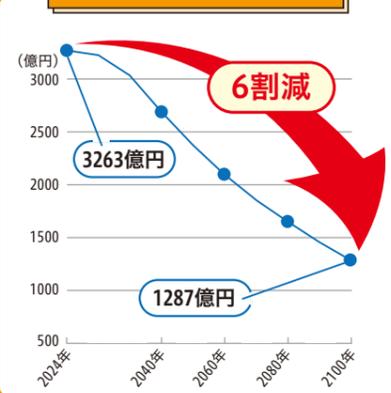
将来の区の人口



区の人口は、今後緩やかに減り続け、2100年には現在の人口の半分にまで減っていくと推計されています。



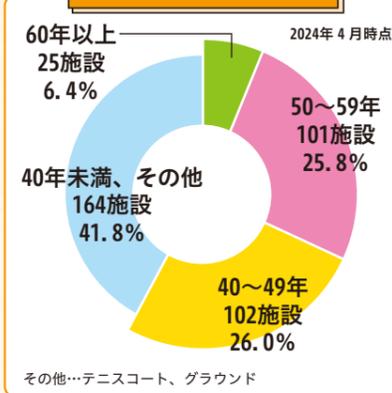
将来の区に入るお金（歳入）



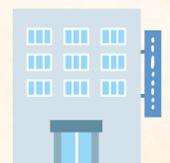
区民の皆さんの暮らしを支えるためのお金が減り、これまで行ってきた行政サービスができなくなる恐れがあります。



築年数別の公共施設数



老朽化する建物をそのまま建て替えていくと、2100年には約8300億円の借金を抱える推計となっています。



江戸川区は2100年に向けて このように考えています

3 いつ行動に移すべきか

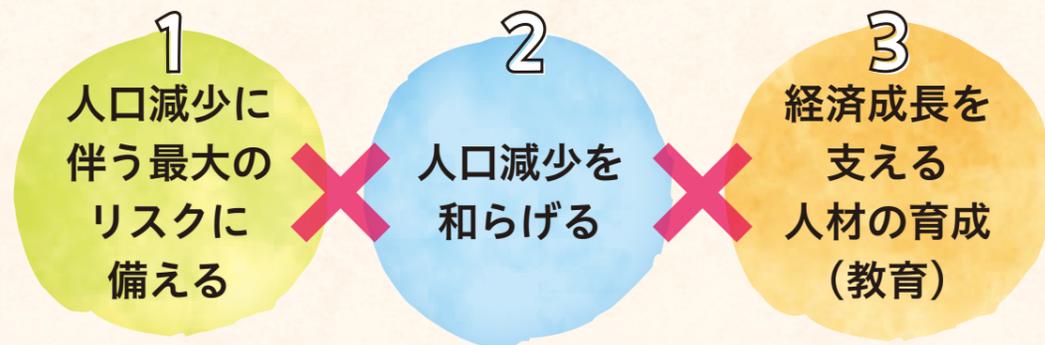
では、行政サービスを持続可能なものにしていくために、いつからその水準や区民の皆さんの負担を見直していくのがよいのでしょうか。区は、人口や区のお金が減っていくことや施設の老朽化が進むことなど、「将来に見込まれるリスク」が顕在化する前に、今から必要な対応をしていき、現在の住みよい江戸川区を将来に残していきたいと考えています。

江戸川区の考え



4 3つの取り組み方針

これらを踏まえ、以下の3つの方針を基に、区の事務事業や公共施設の在り方について、2100年に向けた取り組みを検討しています。



現代に生きる世代の責任を果たし、夢と希望を込めたタスキを将来世代にしっかりとつないでいきます。

行政サービスの水準、区民の皆さんの負担
江戸川区が検討している内容はこちら

1 現在の行政サービスの水準と区民の皆さんの負担

区の役割は、歳入（区に入るお金）と歳出（行政サービスに使うお金）のバランスを取りながら、区政を運営していくことです。

近年は、区民税や交付金の着実な伸びによって歳入が多くなり、現在の江戸川区は、区民の皆さんの負担を抑えながら、充実した行政サービスを提供しています。しかし、人口減少に伴い区に入るお金が減ると、現在の体制を維持することが難しくなっていきます。



人口減少…区に入るお金(減)
少子高齢化…社会保障費(増)

2100年も持続可能な江戸川区にするにはどうしたらいい?

2 2100年に向けた江戸川区の考え

区は、これからも持続可能な行政サービスを提供していくため、現在の行政サービスの水準を見直し、区民の皆さんに適正な負担をお願いする取り組みを進めていきたいと考えています。



(2) 福祉サービスの再構築

人口減少に伴う最大のリスクに備える

- 障害のある方などへの手当について、東京23区をはじめ他の自治体の水準に合わせて見直しを行います。
- 各種制度の充実により、「生きづらさ」を感じる要因が解消されつつある現状を踏まえて、障害のある方や高齢の方への福祉サービスを再構築します。
- サービスを再構築する一方で、この取り組みによって得られた財源を活用し、「生きづらさ」を感じる要因の解消につながる“新たな取り組み”を検討します。



取り組み内容（イメージ）

① 障害のある方や高齢の方への手当を、社会情勢の変化などに合わせて再構築します。



障害のある方や
高齢の方へ向けた
各種手当

社会情勢の
変化など

他の自治体の水準に
合わせた引き上げ・
引き下げや
福祉サービスの充実に
合わせた見直し
など

② 必要な方に必要なサービスを届けるために、福祉サービスの内容を再構築します。



障害のある方や
高齢の方などに向けた
福祉サービス

必要な方に
必要なサービスを

支給要件、
対象者などを見直し、
必要な方が必要な
サービスを受けられる
ように変更
など

③ 外出が困難な方への福祉サービスを将来的に見直していくことに合わせて、これからも外出の機会を確保するため、新たな移動支援サービス（例：グリーンスローモビリティ、AIオンデマンド交通など）の導入を検討していきます。



1 人口減少に伴う最大のリスクに備える

「人口減少に伴う最大のリスクに備える」ための取り組みを、検討の方向性ごとに整理して説明します。

- (1) 受益者負担の適正化
- (2) 福祉サービスの再構築
- (3) 人と人が支え合うまち
- (4) 公共施設の再編整備
- (5) インフラ維持管理・補修・改修コストの最適化
- (6) 時代に合わせた施策の見直し
- (7) 来庁しなくてもよい区役所と新しい時代の広報・区政参画

(1) 受益者負担の適正化

人口減少に伴う最大のリスクに備える

公共施設の使用料の見直し

- 公共施設をこれからも適切に運営していくために、維持管理にかかる経費を、施設を利用する人に適正に負担していただくことを基本的な考え方とします。
- そのために、使用料を適正な金額とし、施設を利用する人にもしない人にも公平な仕組みになるよう見直しを行います。併せて、使用料の減免制度を見直すことにより、今後もサービスを提供していきます。
- 定期的に、使用料や減免制度を見直す仕組みも併せて検討します。

取り組み内容（イメージ）

公共施設の使用料を段階的に引き上げ、受益者負担を適正化していきます。



健(検)診費用や各種証明書の発行手数料などの自己負担割合の見直し

- 区民の皆さんの健康を守る健(検)診などの事業を今後も継続して実施できるよう、費用の一部を受診する方に負担していただくなどの見直しを行います。また定期的に、金額を見直す仕組みも併せて検討します。
- 住民票のコンビニ交付など、より利便性が高く、経費のかからない方法での取得を推進していきます。

取り組み内容（イメージ）

現在無料で実施している健(検)診などについて、一部自己負担を導入するなどの見直しを行います。



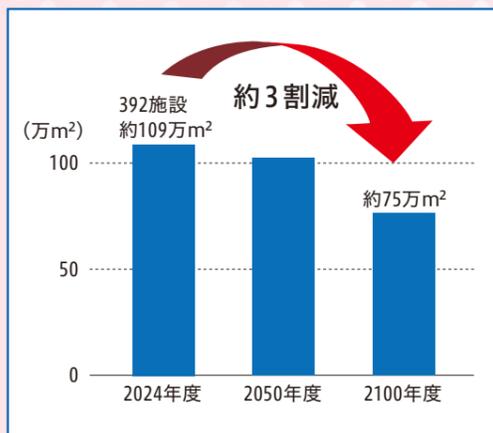
財産の活用による収入の確保

- 区が所有する土地・建物を貸し付ける際の減免基準を明確にし、適切な収入を確保します。

(4) 公共施設の再編整備

人口減少に伴う最大のリスクに備える

- 現在と同程度の健全財政を維持するためには、人口減少に合わせて公共施設の再編を進め、2100年時点で公共施設の総床面積を約3割減らす必要があります。
- 人口減少などにより需要が減る施設は、老朽化した際に建て替えをせず統合・集約します。人口規模にかかわらず必要な施設は将来も残していきます。
- 公共施設を建て替える場合は、民間サービスを含め、機能を原則複合化します。
- 適切な維持補修と延命化を行うことで、公共施設の使用期間を従来の60年程度から80年程度まで延長します。
- 施設を減らしていただくだけではなく、生きがいづくりや交流の活性化につながる新たな施設の整備にも取り組みます。
- 施設整備に当たっては、PPP（公民連携）手法による民間活力の活用を基本とし、財政負担の軽減を図ります。
- 公共施設の再編整備により生じた土地・建物は、貸付・売却などにより有効活用を図ります。



取り組み内容（イメージ）

- ① 人口減少などにより需要が減る施設は、老朽化に合わせて統合・集約します。
（例：小・中学校、コミュニティ会館など）



- ② 公共施設を建て替える際には、原則複合化します。その際、民間事業者との協働も検討します。
（例：図書館、共育プラザなど）



(3) 人と人が支え合うまち

人口減少に伴う最大のリスクに備える

- 全ての人々が「生きづらさ」を感じたり、差別や不利益を受けたりすることがないように環境を整えていきます。
- いつまでも住み慣れた地域で健康的に暮らすために、文化・スポーツ活動などの生きがいづくりを支援していきます。
- 地域コミュニティの担い手の育成を支援しつつ、地域の皆さんの声を聴き、災害などいざという時に機能する「共助」の力を強化していきます。
- これまでの防災・防犯の取り組みに加え、最新技術などを活用して区民の皆さんの生命・財産を守る取り組みを強化していきます。

取り組み内容（イメージ）

下記の支援や取り組みについて、社会情勢の変化に合わせて再構築していきます。

高齢の方への支援

高齢の方の生きがいづくりを支援し、いつまでも安心して生き生きと暮らせる環境を整えていきます。



障害のある方や健康増進に向けた支援

障害のある方も自分らしく暮らせるようサポートをしていきます。また、区民の皆さんの健康づくりを支援していきます。

外国籍・性的マイノリティの方への支援

生まれ育った国・地域が異なる方や性的マイノリティの方への支援を通して、一人ひとりの違いが尊重される社会づくりを進めていきます。



生きがいづくりの支援

誰もが文化・スポーツに親しめる環境を整え、生きがいを持って健康的に暮らしていける取り組みを支援していきます。

地域コミュニティへの支援

町会・自治会などの地域コミュニティをサポートし、おまつりなど人々の交流が活発にできるよう支援していきます。



防災・防犯に関する取り組み

地震や水害、その他自然災害への備えや防犯への取り組みをさらに強化し、安全なまちづくりを進めていきます。

(4) 公共施設の再編整備

人口減少に伴う最大のリスクに備える

取り組み内容 (イメージ)

⑥区民の皆さんが、文化やスポーツなどの活動に親しめる環境を充実させていきます。

～魅力ある江戸川区のために検討していく施設～

- 一流アーティストの公演や区民活動の発表の場として活用できる文化施設
(例：文化ホール、図書館機能を含む文化複合施設など)



- プロスポーツチームがホームタウンとして利用できる競技場、一般利用や区民大会での利用が可能なスポーツ施設
(例：フットボールパーク、通年で利用できるアイススケートリンクなど)



- 学校施設を身近な文化・スポーツ活動の拠点として活用
(例：学校プールを温水化して地域開放など)



- 子どもや高齢者、障害のある方、外国人などの暮らしをサポートする施設
(例：こどもの城、多文化共生センターなど)



⑦より効率的な施設整備のため、民間事業者などの資本やノウハウを積極的に活用するとともに、改築手法の工夫などを行います。

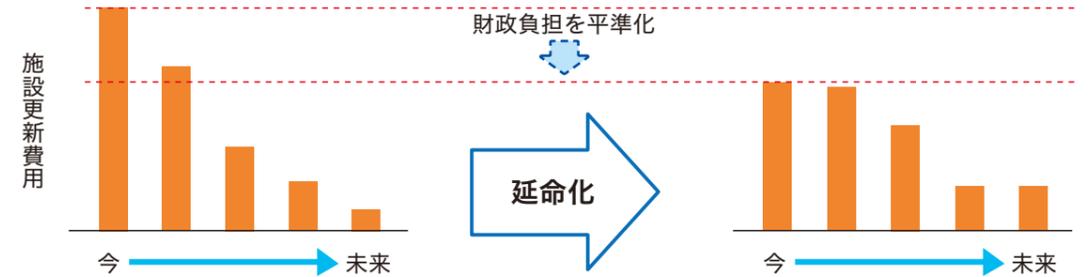


⑧公共施設の再編整備により生じた、土地・建物の貸付・売却や、区施設を活用したネーミングライツ事業などの実施で、歳入の確保を図ります。

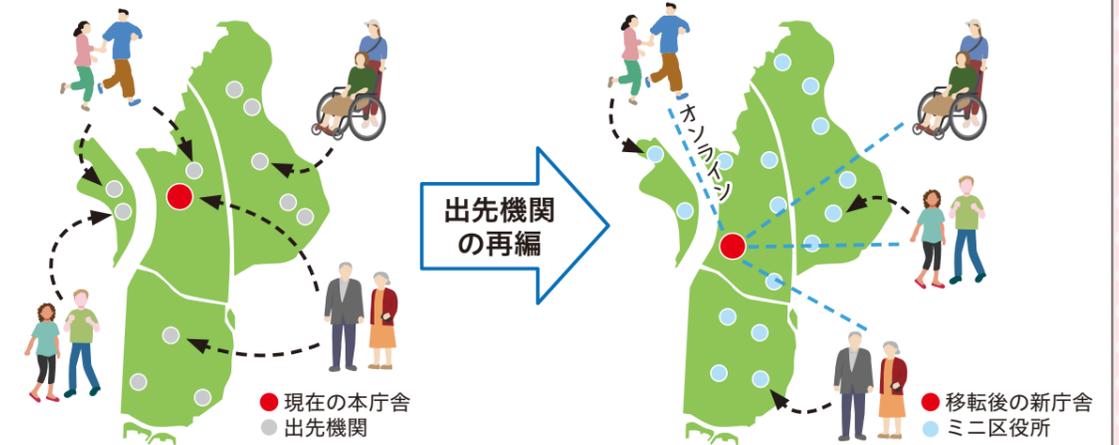


取り組み内容 (イメージ)

③適切な維持補修により施設をできるだけ長く使い、更新時期を延ばすことで財政負担を平準化します。



④本庁舎と出先機関での行政サービスの提供を見直し、新庁舎は行政機能の中核拠点として機能を集約・強化する一方、対面での手続きや相談が必要な方のために、歩いて行ける距離にミニ区役所 (P17参照)を整備します。

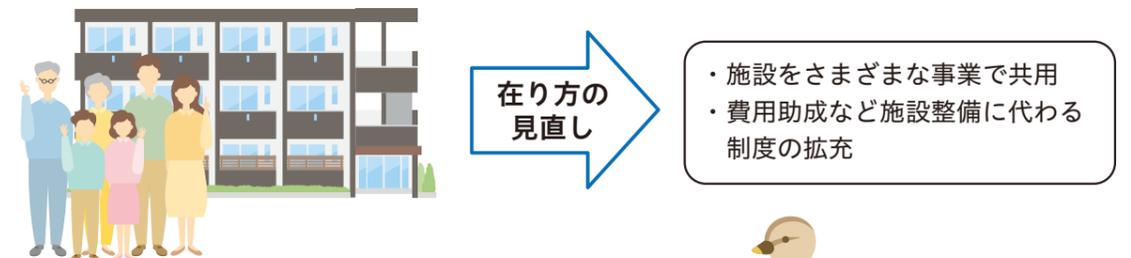


本庁舎の他、地域事務所や健康サポートセンターなどに出向いて、手続きや相談を行う

自宅からオンラインで手続き・相談が可能となり、身近なミニ区役所でも行政サービスを受けられる

⑤区が施設を整備してサービスを提供する方法から、同様の民間サービスなどを受けられるよう費用を助成する方法に切り替えたり、共用施設を活用して事業を実施したりするなど、施設の在り方を見直し、持続可能な行政サービスを提供していきます。

(例：区営住宅、くすのきカルチャーセンターなど)



(7) 来庁しなくてもよい区役所と 新しい時代の広報・区政参画

人口減少に伴う最大の
リスクに
備える

来庁しなくてもよい区役所

本庁舎や各地域事務所などが担ってきた行政機能を新庁舎に集約します。また、自宅から歩いて行ける距離にミニ区役所を順次整備し、身近な場所でさまざまな手続き・相談ができるようにします。



新しい時代の広報・区政参画

区ホームページや広報誌、SNS、広報番組など区が有する広報媒体を活用するとともに、生成AIなど最新の技術を活用した広報を実施していきます。また、アンケートや意見募集、タウンミーティングなど、さまざまな方法を活用して、タイムリーに区民の皆さんの意見を聴く仕組みづくりを進めていきます。



(5) インフラ維持管理・補修・ 改修コストの最適化

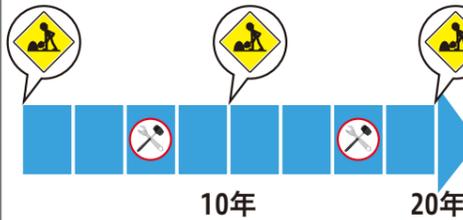
人口減少に伴う最大の
リスクに
備える

- これまでの安全性を維持した上で、道路の補修・改修方法や改修頻度を見直し、インフラにかかる維持管理コストを2100年までに10%削減します。
- 公園の機能（遊具・手洗い所など）や、街路樹の維持管理方針を整理し、計画的で効率的な整備や維持管理を行います。
- 地域で公園を活用・管理する「みんなのこうえん」を進めていきます。



取り組み内容（イメージ）

10年ごとに大規模改修工事を実施



計画的な補修により、
大規模改修工事の回数を減らす



(6) 時代に合わせた施策の見直し

人口減少に伴う最大の
リスクに
備える

- 現在の社会情勢や区民ニーズに合わない事業について、廃止を含めた検討を行います。
- 国・東京都の事業や、他の制度で目的を達成できる事業について、廃止を含めた検討を行います。
- 一方、新たな区民ニーズに応えるため、現行の事業に代わる新規事業を実施していきます。
- 最新のデジタル技術を活用し、事業の効率化や行政サービスの向上を図るとともに、行政職員は人が行うべき仕事に注力します。

事業の効果や実績に基づく見直し

事業・イベントの効果や実績（参加人数や利用者数など）から事業の効果測定を行い、効果が小さい事業や他の事業で目的が達成できるものについて、事業の廃止・縮小などを検討します。

内部事務の見直し

内部事務を見直し、それにかかる不要な経費を削減します。



時代の変化に合わせた見直し

事業の目的と現代の社会情勢を照らし合わせ、事業の再構築や廃止・縮小などを検討します。

3 経済成長を支える人材の育成（教育）

「人口減少に伴う最大のリスクに備える」ことや「人口減少を和らげる」ことに加えて、人口減少に伴う財源・歳入の減少を防ぐための「経済成長を支える」取り組みの一つとして、教育の充実を図っていきます。区の教育に対する考えをまとめた教育大綱[※]（令和6年7月策定）の内容を紹介します。



人とともに生きる

自分らしく学べる教育の実践

誰もが、その個性や状況に合った教育を受けることができ、人とふれあいながら、豊かな心を育みます。

- すべての人は一人の人間として大切にされるかけがえのない存在であり、健やかな成長を見守り、支えています。
- 人に関わる多様性や可能性を理解し、お互いを思いやることのできる人間性を育みます。

社会とともに生きる

支えあう力を強みにするしくみづくり

誰にも身近な学校が地域の拠点となり、本区ならではの「人と人が支えあう力」を生かしながら、地域に開かれた教育を推進します。

- 地域が学校に関わるしくみを活性化させ、より一層、地域全体で教育を行う体制を整えます。
- 文化、スポーツに親しみ、感動や生きがいを感じながら人生100年時代を歩むことができるしくみをつくります。

環境とともに生きる

生きる力を育むための環境づくり

豊かな水とみどりに触れながら生きる力を育み、いざという時には助け合う関係をより強固にしています。

- 地球温暖化などの環境問題を自分事として捉え、行動することができる力を育みます。
- 日ごろから防災意識の向上に取り組み、災害時に周囲と協力して対応できる力を養います。

経済とともに生きる

学びを生かして挑戦できる土台づくり

学ぶことで自分らしく成長でき、学んだことを生かして、やりたいことに挑戦していけるようになります。

- 国際化する社会の中で多様な人々と協調しながら活躍できる人材を育みます。
- 様々な職業に触れ、体験する機会を増やし、将来を見据えて学び続けることができますようにします。

未来とともに生きる

未来を切り拓く力を養う教育の実践

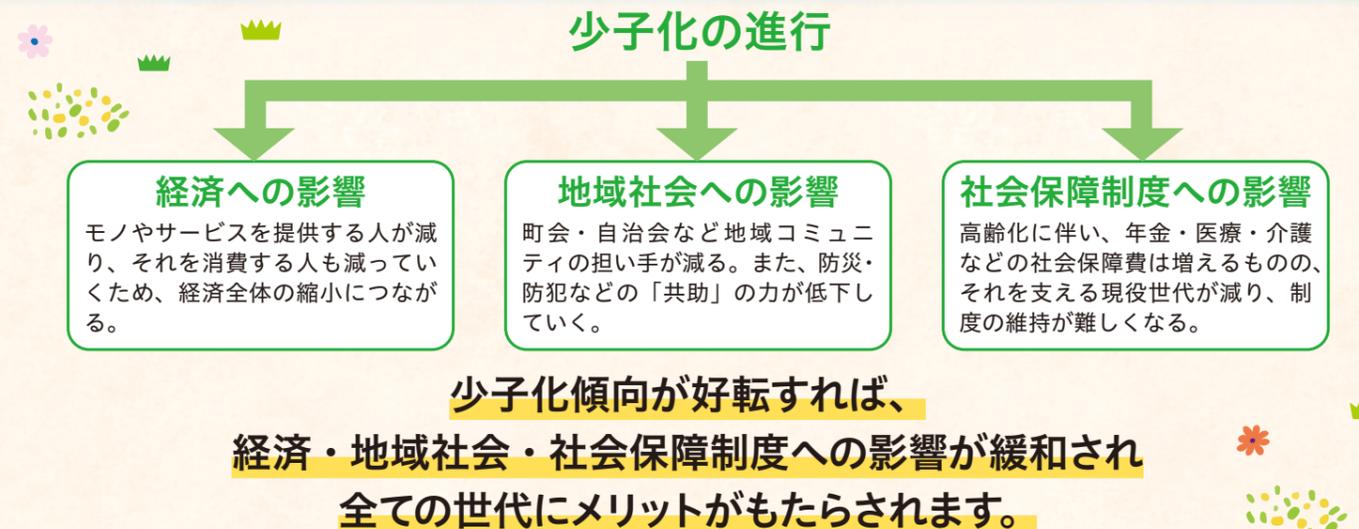
生涯を通じて、多様な選択肢から自らが望む未来を考え、選択できるようにします。

- 新しい技術を身に付け、変化の激しい時代に適応していく力を養います。
- 家庭、地域、学校が連携し、人生を通じた学びの機会を提供します。
- 目の前のことだけでなく、未来のことを考えて行動できる力を育みます。

※教育大綱…地方自治体の長が地域の実情に応じた教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策について、目標や方針を定めたもの。

2 人口減少を和らげる

人口減少対策には、主に他の自治体からの転入人口を増やす取り組み（社会増）と、区内で新たに生まれる子どもの数を増やす取り組み（自然増）がありますが、江戸川区は他の自治体との人口の奪い合いとなる「社会増」を目指すのではなく、「自然増」の取り組みに力を入れていきます。



少子化傾向が好転すれば、

経済・地域社会・社会保障制度への影響が緩和され、
全ての世代にメリットがもたらされます。

そこで
江戸川区では

えどがわ50の子育てプラン[※]の内容を充実させ
出会い・結婚、妊娠・出産などを望む方の希望を叶えられる環境に



※えどがわ50の子育てプラン…区の子育て支援策を50事業に拡充し、出会いから結婚や出産、子育てまで切れ目なく一人ひとりのライフステージに合わせてサポートをしていく取り組み。

区民の皆さんの声を聴く 取り組みを行っていきます

小・中学生ワークショップを開催!

2100年に向けた検討を進めるにあたり、将来を担う子どもたちの意見を聴くため、区内の小・中学生（小学5年生～中学3年生）を対象としたワークショップを開催します。



『2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）』の策定では、9000人以上の区民の皆さんから広くご意見を伺い、区の未来の姿をまとめました。

今回の取り組み内容も、今と未来の江戸川区に関わる大切なことです。これまでと同様に、さまざまな手法を用いて、広く区民の皆さんの声をお聴きしていきます。

今回 ▶ 8月15日

広報えどがわ (意見募集)

本特集で紹介した区の考えについて、ハガキや区HPから意見募集を行います。詳しくはP21・22をご覧ください。

【締切】9月13日 金

8月下旬

ワークショップ

小・中学校の児童・生徒の皆さんを対象にワークショップを行います。

未来世代の声を聴く

10月頃 (予定)

広報えどがわ (これまでの意見紹介)

これまで頂いた意見を誌面でご紹介します。

区民アンケート

上記を踏まえた上で、今後の行政サービスの水準と区民負担について何う、区民アンケートを実施します。

具体的な取り組み内容を提案

区民アンケートの結果を踏まえて、今後の区の方向性や具体的な取り組み内容を提案していきます。

応募方法

スマートフォン・パソコンから応募する場合

応募フォームにアクセスし、ご意見を入力してください。



<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/rdt/2024/action.html>

郵送で応募する場合

左の応募ハガキにご記入の上、切り取って郵送してください。切手は不要です。

締め切り

2024 (令和6)年9月13日 (金) 必着

本特集に関する問い合わせ

企画課 ☎03-5662-6045

(切り取ってそのままポストに投函してください)

1 3 2 8 7 5 0



江戸川区中央1丁目4番1号
江戸川区役所
経営企画部 企画課 行

お名前

ご住所



ご意見・ご感想をお待ちしています

2100年に向けて江戸川区を持続可能なものにしていくため、今回お示した行政サービスの水準や区民の皆さんの負担に対する区の考えなどについて、区民の皆さんのご意見・ご感想を募集します。たくさんの応募をお待ちしています。



(切り取ってそのままポストに投函してください)

応募に当たっての注意事項

- 頂いた書類や電子データなどは、返却しません。
- 頂いたご意見に対する個別の回答はいたしかねます。
- 頂いたご意見は、今後の区の発行物やHPなどで公開する場合があります。その場合、区は応募者の承諾を得ずに無償で使用できるものとしします。
- 応募にかかる費用は、規定の応募用紙の郵送料以外は全て、応募者の負担となります。



ご意見・ご感想をお待ちしています!

本特集でご紹介した区の考えについてご意見・ご感想がある場合は、該当のページ数とともに以下に記入してください。



該当ページ	ページ
ご意見・ご感想	

住まいを探しの方へ 「住み替え相談会」

☎03-5662-0517
【日時】8月27日(火)10時~12時30分

※相談は1人30分程度。

【場所】グリーンパレス4階集会所 407

【対象】区内の民間賃貸住宅への住み替えを検討している方

※都営住宅など公的住宅の紹介はありません。

【定員】5人(申込順)

【申し込み】8月22日(金)までに電話(右記☎)または窓口(区役所北棟2階3番)で

ファミリーサポート会 員を募集します

☎03-5662-0364
【協力会員】
 お子さんの預かりや送迎を行うボランティアを募集します。次の日程で説明会・研修会を行います。

【日程】9月①9日(日)・②25日(日)

【時間】10時~16時(昼休憩あり)

【場所】①区児童相談所・②東部フレンドホール
【定員】各20人(申込順)

【申し込み】9月①6日(金)・②18日(木)までに電話(右記☎)または区HPで

※詳しくは区HPをご覧ください。

依頼会員

協力会員へお子さんの預かりや送迎をお願いしたい方は会員登録が必要です。登録方法について詳しくは区HPをご覧ください。



弁護士による、高齢者・障害者のための無料法律相談

☎03-5662-7696
【日時】9月21日(土)13時30分~14時15分・15時~15時45分

※相談時間は1人30分。

【場所】東部フレンドホール
【対象】概ね65歳以上の方、障

害のある方とその家族、支援者
【定員】各4人(申込順)

【申し込み】8月16日(金)~9月19日(金)に電話(右記☎)で

コロナ特例貸付 返済困りごと相談会

☎03-5662-5587
【日時】9月1日(日)10時~16時

【場所】グリーンパレス3階集会所 304

【対象】令和2~4年にコロナ特例貸付緊急小口資金・総合支援資金を利用した方
 ※定員や申し込み方法など詳しくはHPをご覧ください。

ひとり親家庭のための在宅ワークセミナー (ライブ・動画配信を実施)

☎03-6638-8085
【開催】第3回9時~17時(祝を除く)

【ライブ配信日時】9月28日(土)10時~12時

【動画配信期間】10月11日(金)10時~11月18日(日)18時

【対象】20歳未満の子がいるひとり親家庭の母親または父親

【定員】各50人(申込順)

【講師】丸山恵子(ウーマンネットアカデミー&コンサルティング代表)

【申し込み】ライブ配信↓8月28日(金)~9月27日(金)、動画配信↓8月28日(金)~11月6日(日)に電話(右記☎)または区HPで

成年後見制度セミナー 「障害がある子どもの親亡き後」 成年後見制度の実際」

☎03-5662-7690
【日時】9月17日(火)13時30分~15時30分

【場所】グリーンパレス5階孔雀
【定員】150人(申込順)
【講師】早田賢史(弁護士)、小野多規子(親の会理事・事務局長)

【申し込み】8月16日(金)から電話またはFAX(P4記入例参照・右記☎)で

働きながら年金受給セミナー

☎03-5659-8609
【日時】9月11日(火)10時30分~12時

水泳教室(初級~中級程度)

☎03-5694-8151

泳力を確認後、班ごとに分かれてレッスンをを行います。

【日時】10月7日~12月23日の(日)14時30分~16時・19時~20時30分(各全10回)

※10月14日(祝)、11月4日(祝)を除く。

【場所】小岩アーバンプラザ
【対象】18歳以上の方

※妊娠中・心肺機能に障害のある方は申し込み不可。

【費用】各4200円(受講料)
【申し込み】8月22日(金)までに往復ハガキ(P4記入例参照)を郵送(必着・〒1133-0051 北小岩1-17-1 小岩アーバンプラザ)または通常ハガキを持参



今、プレコンだ

～今日から始める未来を見据えた健康づくり～

健康推進課計画係 ☎03-5661-1137

第4回 男性もプレコン！ ～女性も男性も、プレコンで元気な自分・元気な赤ちゃんを～

「妊娠に向けての健康管理は女性だけのもの」と考えていませんか？過去のコラムでは、たばこや肥満が不妊や妊娠中の合併症、生まれてくる子どもの健康問題の原因となることを紹介しました。実はこれらのたばこや体重管理の問題は女性のみならず、男性の場合も同様に影響があることが分かってきました。

喫煙は精液中の精子の数が減る・性交障害の原因となるなど、不妊の原因となります。

また、男性の肥満も女性の肥満と同様に不妊やパートナーの妊娠合併症（早産など）のリスク、さらに子どもの肥満や生活習慣病のリスクを上昇させるという報告もあります。

不妊の原因は女性と男性半分ずつです。禁煙や適正体重を目指すなどできることからプレコンを始めることで、妊娠するチャンスを高められ、将来の病気や妊娠中のリスクを減らすことが期待されます。

女性も男性も、元気な自分・元気な赤ちゃんの可能性を高めるために、プレコンを始めましょう！

（寄稿：千葉大学医学部附属病院

産科・婦人科 佐藤美香助教）



「長時間のサウナやびったりとした下着が元気な精子の妨げに?!」
※詳しい情報や過去のコラムは区HPをご覧ください。



イベントカレンダー

区内のイベント情報・サークル活動などを区HPでお知らせしています



健康サポートセンター		会場
なごさ	9日(月)	21日(月)
小松川	5日(木)	3日(木)
鹿骨	10日(火)	8日(火)
葛西	11日(水)	9日(水)
東部	3日(火)	1日(火)
小岩	4日(水)	2日(水)
中央	2日(月)	7日(月)

9月は食生活改善普及運動期間「栄養相談を行っています」
最寄りの健康サポートセンター自身の食生活について不安はありませんか。健康サポートセンターでは毎月、栄養相談日を設け、管理栄養士が食生活のアドバイスを行っています。

健康サポートセンター一覧	
中	03-5661-2467
小	03-3665-1171
東	03-3678-6441
清	03-3878-1221
葛	03-3688-0154
鹿	03-3678-5711
小	03-3683-5531
な	03-5675-2515

健康・福祉

健康サポートセンター	会場
中央	13日(金)
鹿骨	3日(火)

個別のリハビリ・運動相談
各会場へ
健診で運動習慣の見直しが必要とされた方、フレイル予防のために足腰を鍛えたい方、運動を楽しみたいが障害がある方などに、理学療法士や作業療法士が相談に応じます。

健康サポートセンター	会場
葛西	10日(火)
小岩	9日(月)
なごさ	4日(日)

個別の体力チェックと運動相談
各会場へ
運動不足が気になる、筋肉が落ちた、疲れやすいなど体力に不安がある方はご相談ください。筋肉量の計測などを行った後、理学療法士や作業療法士が筋力トレーニングの方法をアドバイスします。

神経難病検診
江戸川区医師会
☎03-3652-3166
9時～17時(土日祝を除く)
【日時】10月6日(回)9時から
【場所】江戸川区医師会館(中央4-24-14)

個別の体力チェックと運動相談
各会場へ
【定員】各3人(申込順)
【申し込み】8月16日(金)9時から(電話(右記)で)

認知症サポーター養成講座
①松江図書館 ☎03-3654-7251
②葛西図書館 ☎03-3687-6811
【日時】9月14日(土)14時～15時30分
【場所】①松江市民プラザ、②葛西図書館
【定員】各30人(申込順)
【申し込み】8月16日(金)9時から(電話(右記)で)

個別のリハビリ・運動相談
各会場へ
【定員】各3人(申込順)
【申し込み】8月16日(金)9時から(電話(右記)で)

個別の体力チェックと運動相談
各会場へ
【定員】各3人(申込順)
【申し込み】8月16日(金)9時から(電話(右記)で)

個別の体力チェックと運動相談
各会場へ
【定員】各3人(申込順)
【申し込み】8月16日(金)9時から(電話(右記)で)

個別の体力チェックと運動相談
各会場へ
【定員】各3人(申込順)
【申し込み】8月16日(金)9時から(電話(右記)で)

個別の体力チェックと運動相談
各会場へ
【定員】各3人(申込順)
【申し込み】8月16日(金)9時から(電話(右記)で)

熟年相談室

だより

認知症への理解を深めませんか？ ～9月21日は「認知症の日」～

事業者調整係 ☎03-5662-0032

オレンジ色は認知症支援のテーマカラー

今年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進する認知症基本法」で、9月21日が「認知症の日」、9月が「認知症月間」と定められました。この期間に、全国各地の名所やランドマークが認知症支援・普及啓発活動のテーマカラーであるオレンジ色に照らされます。

江戸川区でも9月15日(回)～21日(回)にタワーホール船堀をオレンジ色にライトアップします。



認知症について知ろう！

- 認知症サポーター養成講座
認知症の正しい知識や望ましい接し方などを学ぶ認知症サポーター養成講座を区内各地で毎月開催しています。9月開催分について詳しくは、P24および広報えどがわ9月1日号をご覧ください。
- 図書館ミニコーナー
各区立図書館で、認知症や介護予防に関する書籍のミニコーナーを設置します。近くの熟年相談室やなごみの家で行われるイベントも紹介しますので、ぜひご覧ください。
※実施期間など詳しくは各図書館にお問い合わせください。

▲区立図書館HP



中央図書館



篠崎こども図書館

受給者証が9月1日から新しくなります

障害者福祉課自立援助係 ☎03-5662-0062

心身障害者医療費助成制度は、障害のある方が保険診療を受ける際の自己負担金の一部を助成する制度です。現在、受給者証をお持ちの方には、8月下旬に新しい受給者証をお送りします。所得制限などにより対象外となる方には、その旨を通知します。

なお、新たに対象となる方は申請が必要です。申請される方は事前にお問い合わせください。

【対象】次の全てに該当する方

- 身体障害者手帳1・2級(内部障害は3級まで)、愛の手帳1・2度および精神障害者保健福祉手帳1級の方
- 健康保険に加入している方
- 所得制限基準額以下の方

次の方は対象になりません

⇒65歳以上で新たに助成対象となった方/後期高齢者医療の被保険者で住民税が課税されている方/生活保護を受けている方/児童福祉法の措置により、施設に入所している方



8月16日～9月1日の 夜間・休日急病診療

受診の際は、健康保険証
などを持参してください

医療機関のご案内

- 江戸川区医師会休日診療テレホンセンター (日祝9時～17時) ☎・03-5667-7557
- 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」(24時間) ☎03-5272-0303 / ☎03-5285-8080
- 東京消防庁救急相談センター (24時間) ☎ # 7119 / ダイヤル回線 ☎03-3212-2323



※医療情報ネットHPでも
医療機関を探すことが
できます。

夜間・休日診療担当医療機関 (往診不可)

小児科 内科 眼科 耳鼻咽喉科 ※外科は救急病院をご利用ください。

日程	診療時間	診療科目・医療機関名	住所	電話
夜間診療 (毎日)	21時～翌6時	内小 江戸川区医師会夜間・休日急病診療所	西瑞江 5-1-6 (江戸川区医師会地域医療支援センター内)	☎03-5667-7775
8月18日回・25日回・9月1日回	9時～17時			
8月18日回	9時～13時・15時～20時	内小 キャップスクリニック北葛西	北葛西 5-15-2	☎03-6808-8055
	9時～12時30分・14時～17時	内小 葛西のかなめクリニック	中葛西 5-20-14	☎03-6808-5881
	9時～17時	内 成光堂クリニック	北小岩 2-7-6	☎03-3657-6576
		内 西葛西クリニック	西葛西 4-2-75	☎03-3686-5555
	24時間	内 森山記念病院	北葛西 4-3-1	☎03-5679-1211
9時～17時	眼 あいりす眼科クリニック	船堀 3-7-22	☎03-5676-4113	
8月25日回	9時～13時・14時～18時	小 アクアキッズクリニック	南小岩 7-24-20	☎050-3160-8346
	10時～14時	小 はるやま小児科	南篠崎町 2-10-1	☎03-3679-1188
	9時～17時	内小 清新北診療所	清新町 1-4-1	☎03-3878-3001
		内小 小岩診療所	北小岩 6-8-13	☎03-3673-2857
	9時～13時	内 中鉢内科・呼吸器内科クリニック	西葛西 6-13-7	☎03-3687-1161
9時～17時	眼 葛西駅前たなか眼科	中葛西 5-42-8	☎03-6808-1161	
	耳 さの耳鼻科	東葛西 6-1-17	☎03-5675-6155	
9月1日回	10時～14時	小 はるやま小児科	南篠崎町 2-10-1	☎03-3679-1188
	9時～17時	内小 杉山医院	松島 2-28-6	☎03-3653-2022
	9時～13時・15時～20時	内小 キャップスクリニック北葛西	北葛西 5-15-2	☎03-6808-8055
	9時～13時	内 中鉢内科・呼吸器内科クリニック	西葛西 6-13-7	☎03-3687-1161
		内 高野医院	篠崎町 4-12-12	☎03-3670-7550
9時～17時	眼 葛西かもめ眼科	東葛西 2-9-10	☎03-6423-8288	
		耳 すぎやま耳鼻咽喉科クリニック	西小岩 1-23-2	☎03-5622-3355

※医療機関は変更
になる場合があります。
変更がある場合は江戸
川区医師会HPに
掲載しています。



※受診前にはまず
担当医療機関へ
電話でご相談く
ださい。



江戸川区歯科医師会休日歯科応急診療所 (要予約)

※診察は事前予約制で行っています。また、付き添いの方は必要最低限でお願いします。

【診療時間】 日祝9時～17時 (受け付けは16時30分まで) ☎・03-3672-8215

【診療場所】 東小岩 4-8-6 (江戸川区歯科医師会館内)



休日応急当番接 (整) 骨院 【施術時間】 9時～17時

8月18日回	田村接骨院	船堀 7-16-16	☎03-3687-0864
	あさひ接骨院	南小岩 8-15-12	☎03-5694-6177
8月25日回	さくら大内整骨院	篠崎町 2-1-5	☎03-3670-4172
	まほろば整骨院	瑞江 4-45-7	☎03-6638-6228
9月1日回	せきぐち整骨院	松江 3-14-5	☎03-5662-1154
	小林接骨院	北小岩 3-7-12	☎03-3673-2002

※当番接 (整) 骨院は変更
になる場合があります。変更
がある場合は区HPに掲載
しています。



子どもの健康相談室 (小児救急相談)

子どもの健康・救急に関する相談に看護師や保健師などが応じています。

また、必要に応じて小児科医師が対応します。

【日時】 月～金=18時～翌朝8時 / 日祝9時～17時

☎プッシュ回線・携帯電話☎ # 8000

ダイヤル回線など全ての電話☎03-5285-8898

夜間・休日の在宅療養電話相談

「近くの医療機関が知りたい」「訪問診療や往診について知りたい」など、自宅での療養に関する電話相談に看護師などが応じます。

☎03-6240-5535

= 21時～翌朝6時 (日祝9時～17時も受け付け)



本誌掲載の事業などの実施に当たっては、江戸川区議会の審議・議決を要する場合があります。

MAIL 友好都市からの手紙

南魚沼市

☎南魚沼市企画政策課 ☎025-773-6672

市制施行20周年の南魚沼市は、「もっとあたらしく ずっと南魚沼らしく」をテーマにさまざまな記念イベントを行っています。

10月26日(日)には、八色の森公園で「おにぎり&ミュージックフェス」を開催します。県内出身の歌手である小林幸子さんなどが出演する他、全国初の「おにぎりサミット LOCAL」を開催します。「楽しい」「おいしい」を求めて、ぜひ南魚沼市へお越しください。詳しくはHPをご覧ください。

南魚沼市市制施行 20周年記念

20周年記念キャラクター「うしやうり」

穂高荘・塩沢江戸川荘は江戸川区の友好都市にある区立の宿泊施設です。区民・区内在勤者とその同居家族向け料金があります。11月分までの宿泊・バスツアーは各予約センター(下記)で受け付け中(申込順)です。

長野県安曇野市 穂高荘

予約センター ☎03-5662-7051 = 9時～17時 (日祝を除く)

安曇野の秋の風物詩、穂高神社最大のお祭り「御船祭り」を見てみませんか。2隻の大きな山車が激しくぶつかり合う「船喧嘩」は迫力満点です!

フリープラン 2泊3日 (キャンプフェス)
9月14日(日)～16日(火) 2泊

長野県無形民俗文化財 穂高神社御船祭
●葛西・一之江駅・総合文化センター発
9月26日(日)～28日(火) 2泊
●西葛西・船堀・平井駅発
9月27日(日)～29日(火) 2泊

安曇野の社寺巡り 国宝仁科神明宮、東光寺他
9月10日(日)～12日(火)・10月3日(日)～5日(火) 各2泊

新潟県南魚沼市 塩沢江戸川荘

予約センター ☎0120-007-095 = 9時～17時

塩沢江戸川荘では、10月になると米処・南魚沼の新米こしひかりが、食事や売店に登場します。食欲の秋、魚沼の味覚を楽しみにぜひお越しください。

初秋の武蔵野の路
SLパレオエクスプレス
10月4日(日)～5日(月) 1泊

秋の塩沢
タイムスリップ
出雲崎レトロミュージアムとSLパレオエクスプレス
10月10日(日)～12日(火) 2泊

12月分/年末年始期間分の宿泊予約受け付け開始!

【申し込み】各予約センター(上記)へ電話で①12月分(年末年始期間を除く)⇒穂高荘=9月2日(日)9時から、塩沢江戸川荘=9月1日(日)9時から、②年末年始期間分(12月28日(日)～7年1月4日(日))⇒両施設共通=9月2日(日)～9日(日)

※①は初日のみ予約が重なった場合は抽選。それ以降は申し込み順。②は抽選。

葛西臨海公園内のホテル ホテルシーサイド江戸川

レストラン「シーサイド」では、8月23日(日)～9月30日(日)に「友好都市フェア」を開催します。友好都市の旬の食材を使った限定メニューをご用意していますので、友好都市を旅した気分各地の味をお楽しみください。

【江戸川友好都市コース (ディナー限定) の主な内容】

- 新潟美雪マスのピカタ トマトソース添え (新潟県南魚沼市)
- げんき豚の角煮 (長野県安曇野市)
- 鶴岡の菊おひたし、ハーブ鶏南蛮漬 (山形県鶴岡市)

※詳しくは電話(下記)でお問い合わせください。

予約・問い合わせは電話(下記)で ☎03-3804-1180 = 9時～18時

SDGs × Sports ~17のゴールに向かって~

区と関わりの深いスポーツチームのSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを紹介します。



江戸川区を拠点として活動する「東京23フットボールクラブ」は、地域貢献活動に積極的に取り組んでいて、毎月23日には「23クリーンプロジェクト」を実施しています。このプロジェクトでは、ホームスタジアム（スピアーズえどりくフィールド）のある西葛西駅周辺などで、同クラブの選手とスタッフが、地域住民やサポーターの皆さんと清掃活動を行っています。

ecoミュージックフェスタin西葛西

9月23日(日)には、同クラブと地元関係団体が協力し、「ecoミュージックフェスタin西葛西」を開催します。選手と子どもたちによる清掃活動や区内福祉事業所が行うマルシェ、音楽ステージの他、環境やエネルギーについて楽しく学べる、エコをテーマにした参加型のイベントです。



区内福祉事業所が行うマルシェ



自転車発電の体験

廃棄塗料を使用したライフペイント

※イベント内容は昨年と異なります。

【日時】 9月23日(日)15時～18時（予定）

※雨天中止。

【場所】 西葛西駅北口

スポーツをもっと楽しく、もっと身近に！

運動したいと思ったら💡スポーツ施設に行ってみよう！

各スポーツ施設（区HPに一覧）へ



区内7カ所のスポーツ施設では、スポーツや運動の相談・コーディネート窓口「スポーツコンシェルジュ」を設けています。いつでも・誰でも無料で相談できますので、お気軽にお問い合わせください。

●マットを使って楽しく体を動かせる幼児向け教室

総合体育館 ☎03-3653-7441



小さな子どもが楽しく運動できる教室はありますか？

総合体育館で実施している「幼児マット教室」はいかがですか？

- ・走る・跳ぶなどの運動で体力づくりを行います
- ・マットを使って前転・後転・側転などの運動を行います



日時	対象・定員	費用
9月までの毎週月(日) 15時30分～16時30分	月⇒年少児20人、日⇒年中児30人、日⇒年長児30人	月⇒3600円（全9回）、日⇒4400円（全11回） ※体験あり（1回400円）。

ピックアップ教室&イベント ※申し込み方法や最新情報は各施設のHPをご覧ください。

教室・イベント名	日時	場所	対象・定員	費用
ヨガ	毎週日18時～18時50分	スポーツセンター ☎03-3675-3811	高校生相当以上の方	1回210円
短距離記録会	8月21日(日)16時40分から順次	スピアーズえどりくフィールド ☎03-3878-3388	①50メートル⇒小学4年生以下 ②100メートル⇒小学生～一般、車いす ※各部門6レース・8人ずつ。	①200円 ②500円（高校生相当以下は300円）
えどがわ臨海「オールスポーツ」アカデミー	毎週(日)（除外日あり） 20歳以上の方⇒16時～17時/ 小学生⇒17時～18時20分	臨海球技場 ☎03-3680-9251	各20人	初年度登録料・毎月の参加費など ※無料体験あり。
初心者ローラースケート教室	9月1日(日)10時～12時	水辺のスポーツガーデン ☎03-5636-6550	50人	550円

区の人口と世帯数

(8月1日時点・前月比)

人口：69万3512人（+780人）
男：34万8948人
女：34万4564人
世帯：35万8881世帯（+809世帯）

広報誌配布方法・場所

- 日刊各新聞朝刊への折り込み
- 駅や大型商業施設内の広報スタンド
- 区施設、一部のコンビニ・スーパー、銭湯・病院・理容室・美容室など



▶広報えどがわは区HPでもご覧になれます。また、区HPで広報えどがわのアンケートを実施しています。